

草津市読書のまち推進計画（案）に関する
パブリックコメントの実施結果について

実施結果

- 1 実施期間 令和7年4月21日（月）から令和7年5月20日（火）まで
- 2 意見者数 1人
- 3 意見総数 12件（意見の内容および意見に対する市の考え方は別添のとおり）
- 4 意見の反映件数 0件

周知方法

広報媒体	実績
計画案(本編および概要版)の配架	配架場所（閲覧者数） ・生涯学習課（1人） ・情報公開室（0人） ・草津市立図書館（1人） ・南草津図書館（0人）
資料送付	送付数：0件
個別説明	説明数：0件
市ホームページ	アクセス数：262件（5月21日確認）
広報紙	5月1日号
資料提供	4月11日付け
その他（市公式LINE）	4月21日付け

概要版のみ掲示施設

- ・各地域まちづくりセンター（14箇所）
- ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ
- ・各隣保館（4箇所）
- ・市民総合交流センター

結果公表

- ・市ホームページ 6月下旬
 - ・広報紙 7月1日号
 - ・資料配架 6月下旬
- 配架場所
- ・生涯学習課
 - ・情報公開室
 - ・草津市立図書館
 - ・南草津図書館

草津市読書のまち推進計画（案）
提出された意見と市の考え方

No	意見（ページ数）【原文】	市の考え方
1	（４１ページ） 快適な閲覧スペースの拡充：落ち着いた読書や学習ができるよう、一人用の閲覧席やグループ用スペース、畳スペースなど、多様な閲覧スペースを整備することも重要です。	図書館では、複数で閲覧できるスペースや屋外読書スペース、学習・読書に集中できる空間としての「学-being」の設置など、ニーズに合った閲覧スペースづくりに取り組んでおります。
2	（４１ページ） 無料 Wi-Fi の完備：無料 Wi-Fi は必須です。調べ物や学習に利用できるだけでなく、国会図書館のデジタルアーカイブをはじめ、様々なオンライン情報源へのアクセスを可能にします。	図書館では、すでに無料 Wi-Fi を設置しており、利用者の皆様が自由に情報を検索したり、学習を行える環境を整備しております。
3	（４１ページ） 電子書籍サービスの導入：自宅からでも利用できる電子書籍サービスは、図書館利用の利便性を高めます。特に、高齢者や障害者など、来館が難しい利用者にとって有効なサービスです。	電子書籍につきましては、多様化する市民の図書館ニーズに対応するため、今後のデジタル社会への対応や読書バリアフリーの観点から、電子書籍等の導入の検討に努めてまいります。
4	（４２～４３ページ） カフェスペースの設置：TSUTAYA のように、コーヒーなどを飲みながら本を読んだり、軽食をとったりできるカフェスペースは、図書館の滞在時間を延ばし、利用者の満足度を高める効果が期待できます。市民同士の交流の場にもなるでしょう。	図書館に親しみのもてる機会づくりの一環として、現在、屋外に飲食ができるスペースを提供しています。

5	(42～43ページ) 緑やアートの導入：植物を配置したり、アート作品を展示するなど、図書館内に癒しや刺激を与える要素を取り入れることで、より魅力的な空間を演出できます。市内にはアーティスト活動をされている方もいるようなので、そういった方々に協力してもらうのも良いかもしれません。	市内で創作活動をされている方の作品を展示するなど、いただいた御提案の内容も含め、癒しや刺激を与える要素を取り入れるなど、来館のきっかけとなるような工夫に努めてまいります。
6	(42～43ページ) 開館時間の延長・休館日の見直し：仕事帰りや学校帰りにも利用できるよう、開館時間を延長したり、休館日を見直すことも検討すべきです。	多様なライフスタイルに対応できるよう、両館で開館時間や休館日をずらして開館しており、見直しの検討はしておりません。
7	(42～43ページ) イベントの多様化：講演会やワークショップ、映画上映会など、読書以外の目的で来館する人を増やすためのイベントを積極的に開催します。	読書につなげる目的で、来館する人を増やすため、図書館で実施する図書館DAYなどのイベント時に講演会やしおりづくりのワークショップなどを行い、今まで図書館を利用したことがない人にも来館のきっかけとなるように工夫したイベントを実施しております。
8	(42～43ページ) 子育て世代への配慮：絵本コーナーの充実や、授乳室・おむつ交換台の設置など、子育て世代が利用しやすい環境を整えることも大切です。	図書館では、古くなった絵本の買い替え等を行うことで絵本コーナーの充実を図っております。また、授乳室やおむつ交換台をすでに設置しております。
9	(42～43ページ、48ページ) SNSの活用：図書館の情報を積極的に発信するだけでなく、利用者の声に耳を傾けるためのツールとしても、SNSは有効です。	図書館では、現在SNSを用いて情報を発信するとともに、記事へのコメントやダイレクトメッセージ機能を活用し、図書館の利便性の向上に努めています。

10	(42～43ページ、48ページ) ウェブサイトの改善：図書館の蔵書検索やイベント情報などをわかりやすく提供することで、利用者の利便性を高めます。	図書館では、独自の蔵書検索・予約システムおよび図書館アプリを導入し、利用者の利便性の向上に努めています。また、市ホームページにおいてイベント情報などを発信しています。
11	(42～43ページ、48ページ) 広報活動の強化：市内の公共施設や商業施設などにチラシやポスターを設置するなど、図書館のPR活動を積極的に行います。	図書館における広報につきましては、市ホームページ、SNS、図書館アプリ等においてイベント情報の周知等を行っております。
12	(一) コワーキングスペースの設置：個人事業主や学生などが仕事や勉強に集中できるコワーキングスペースは、図書館の新たな利用層を開拓する可能性があります。電源やプリンターなども整備します。	コワーキングスペースの設置については、現在、草津駅前、南草津駅前を中心に民間事業者により整備が進んでおり、図書館において同様の機能を新たに設置することは、現時点では予定しておりません。

▼原案への反映について

パブリックコメントの実施結果による計画（案）の修正・変更はありません。お寄せいただいた御意見は、計画に基づく具体的な取組にあたっての参考とさせていただきます。